

包装タイムズ

THE HOSO TIMES

6月30日 No.2656

-----2014年(平成26年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

昭和41年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年 間 23,900円+税

(定価) 1部本体 509円+税

発行所
日報ビジネス株式会社
Vision Vitality Victory

<東京>〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-5
電話03(3262)3463 FAX03(5276)4431
<大阪>〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06(6262)2402 FAX06(6265)7127
<広島>〒733-0861 広島市西区草津東2-2-38
電話082(274)2650 FAX082(274)2651

くちの屋

くちの屋(和歌山県岩出市)は、地元特産の根来大唐を活用した「和歌山高野七味唐辛子」を、県の新たな特産品として売り出す。2015年の高野山開創1200年祭を前に企画開発された同商品のパッケージは、開祖・空海が密教と共にもたらしたとされる梵字をデザインしたものだ。高野山で独自に育まれた真言密教の象徴を配したデザインには、「かつては大陸から輸入されたものを、今度には和歌山から世界へ羽ばたく商品に」という期待が込められている。

梅や桃、ミカンが特産品の定番とされ

てきた和歌山で、新たな特産物を国内外に発信しようと、同

県の財団法人わかやま産業振興財団の「わかやま中小企業

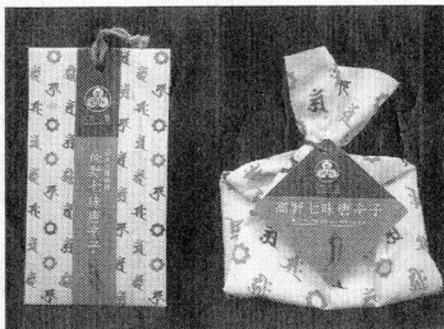
特産野菜を七味唐辛子に

梵字パッケージで世界にPR

元氣ファインド」に採掘された商品。「和歌山から世界へ発信する商品」をコンセプトに、高野山開創

1200年祈念と合わせ、商品開発を進めた。

同社所在地である岩出市の特産品を生かそうと、高野山にゆかりのある地元の根来寺の大塔にちなんで名付けられたシトウの根来大唐(ねごろおおとう)をブレンド。同県が全国トップの生産量を誇る山椒などと調合した七味唐辛子の、その他の材料には、



家紋の中央には梵字の基本字「あ」を配する

香りがよく、仏の手に似ていることから縁起物として珍重される仏手柑(ぶっしゅかん)も、和食との相性を重視した独自の配合で、辛さより香りを楽しむ味わいに仕上げている。

湿度に弱い七味唐辛子の香りが損なわれないうようなPE・アルミ・PETのチヤック付きラミネート袋に密封された商品の

パッケージは、手拭いで巾着型に包み、開封後はハンカチとしてリユースできるものと、紙袋の2種類。紙パッケージは和紙を模した高級感ある外見に仕上げられ、いずれも一つひとつの文字がそれぞれの守護尊を表す梵字をデザインした。

同商品はモニター調査を経て、今年秋から高野山の蕎麦屋やギャラリー土産物店をはじめ、根来寺の境内、地産地消費産物販売施設などで販売を開始する。